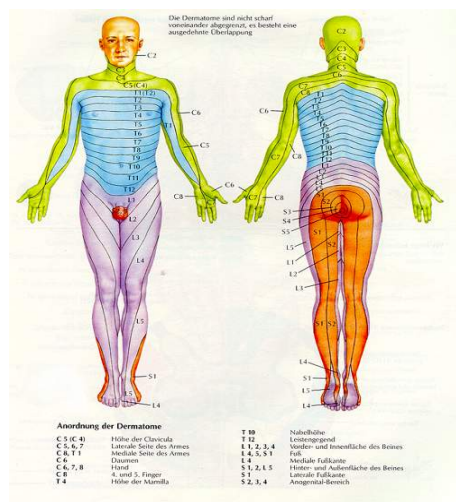


皮膚文節



先ほど、30対の神経が出ているといましたが、例えば親指がしびれると、Cの6の神経ではないかと考えます。少し勉強されている方は、どこがしびれていると、どの神経が傷んでいるかというのがわかるようになります。昔から知られている皮膚文節（デルマトーム）というのがあります。

緑が頸髄神経の領域ですね。青が胸髄神経、紫が腰椎の神経ですね。オレンジが仙骨神経という大体の分布になっています。勿論覚える必要はないのですが、例えば親指だとCの6だね、脚のこの辺りだと、Lの4番目の神経が傷んでいるでしょうねと、どこがしびれていますか？あるいは触ってみて、そこがおかしいんですと言われると、何番目の神経が傷んでいるんだなということがわかります。これが診断に重要なポイントなんですね。

1. 脊髄神経は特定の領域を支配している。

頸髄：頸・上肢

胸髄：胸・背中

腰髄：下肢

仙髄：臀部

2. 感覚障害の部位を検査すると、障害されている部位が診断できる。